



八女みらいグリーンプロジェクト Vol. 1

妥当性確認書

2024. 5. 12

1. 目的

妥当性確認書は、コアカーボン原則の 1. 実質性 (Additionality) , 5. 透明性 (Transparency) を担保するものである。よって、本書は一般社団法人 Nature-based Solutions の WEB サイトで公開されます。

NO	項目	説明
1	実質性 (Additionality)	炭素削減または除去は、プロジェクトが存在しなければ実現されなかったものでなければなりません。これは、プロジェクトが追加的な環境利益をもたらすことを保証します。
2	量の正確性 (Quantification) :	炭素削減または除去の量は、正確に計測され、過大評価や過小評価を避けるために適切な方法論を用いて定量化される必要があります。
3	恒久性 (Permanence)	炭素削減または除去の効果は、長期間にわたって持続する必要があります。これは、削減されたまたは除去された炭素が将来的に大気中に再放出されないことを保証するためです。
4	検証と監査 (Verification and Auditing)	炭素削減または除去の成果は、独立した第三者によって定期的に検証される必要があります。これにより、プロジェクトの成果が正確であることが保証されます。
5	透明性 (Transparency)	プロジェクトの設計、実施、成果に関する情報は公開され、全ての関係者がアクセスできるようにすることで透明性を確保します。
6	排他性 (Exclusivity) と 二重カウントの防止 (Avoidance of Double Counting)	同じ炭素削減または除去の成果を複数回クレジットとしてカウントしないようにします。これは、市場の整合性を保ち、実際の環境利益を確保するために重要です。
7	環境と社会への配慮 (Environmental and Social Safeguards)	プロジェクトは、環境保護と社会的利益を確保するための適切な保護措置を講じる必要があります。これには、生物多様性の保護や地域社会の利益の促進などが含まれます。

2. 検証確認

実施日 : 2024年5月10日 検証者: 佐藤智史・野口英光

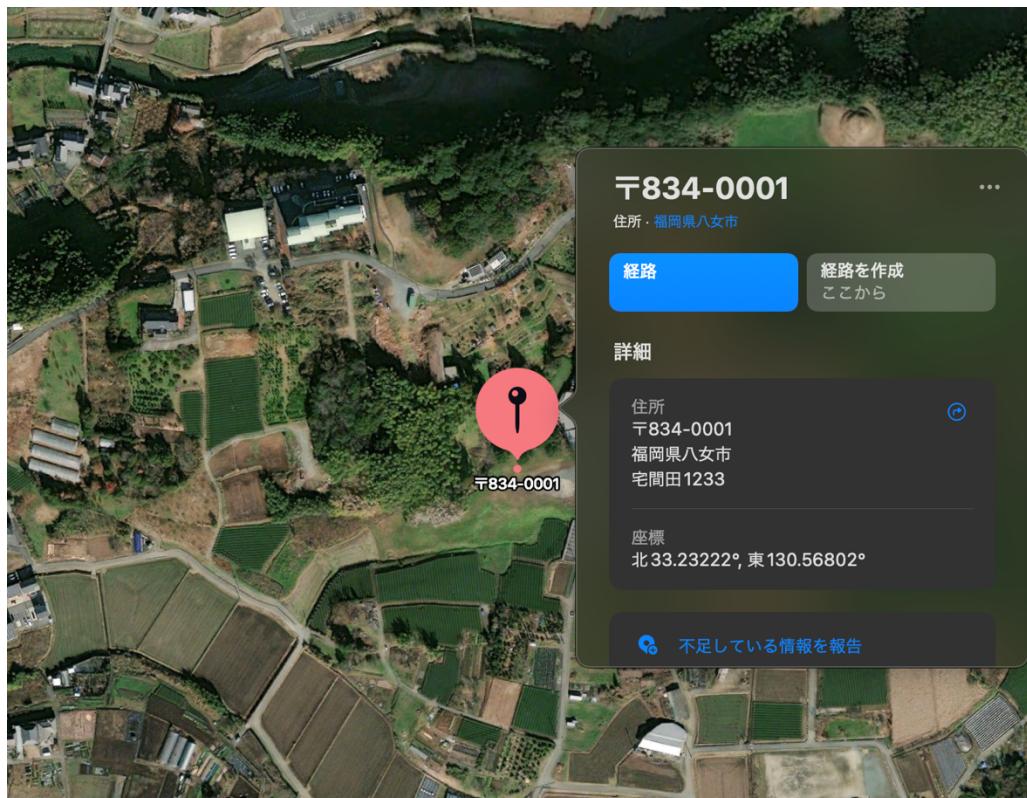
実施場所1: 福岡県八女市星野村 旱成桐



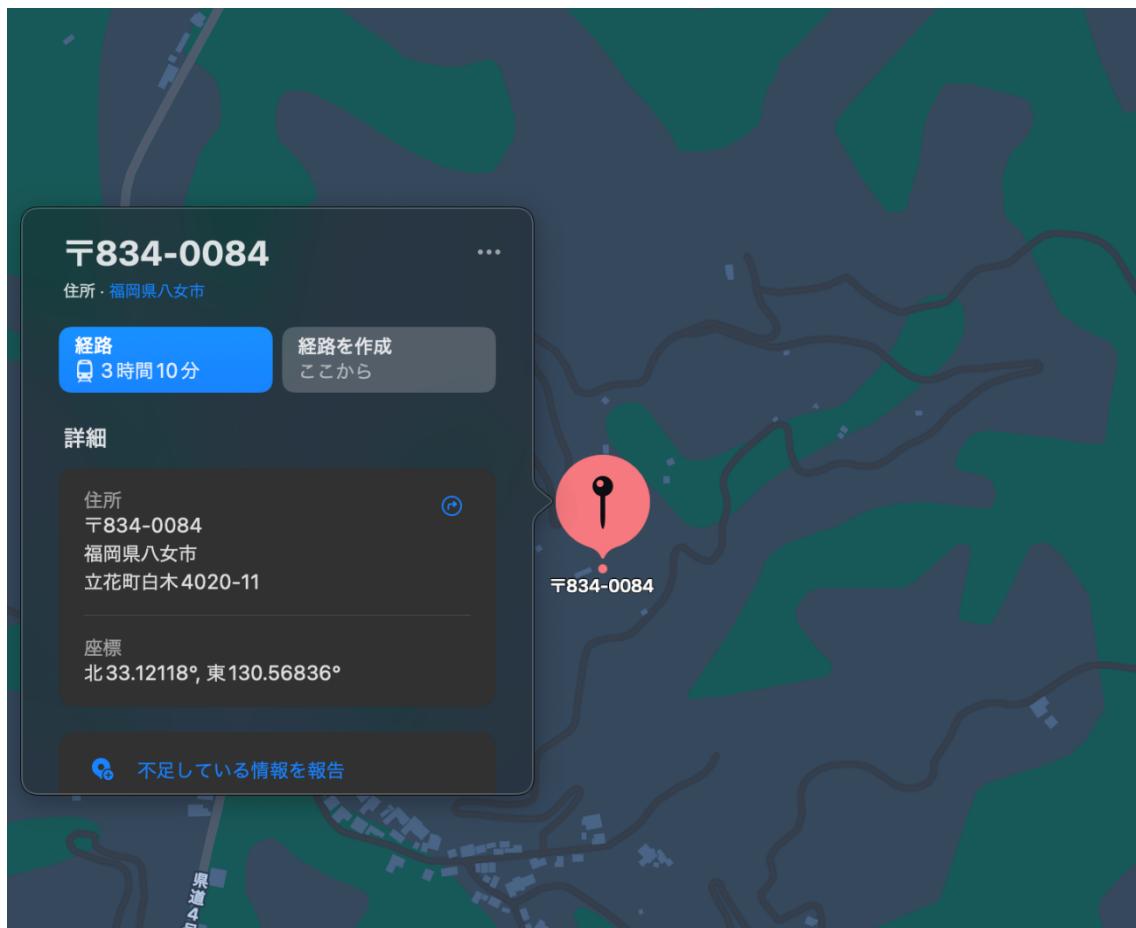
実施場所 2 : 福岡県八女市星野村 6732 早成桐



実施場所3：福岡県八女市宅間田 早成桐



実施場所 4：福岡県立花町白木 4020-11 早成桐



福岡県立花町白木 4020-11

3. 検証本数

場所	本数	植林	植林日	備考
福岡県八女市星野村	157本	早成桐	2023年8月植林	上段65本・ 下段92本
	9本	早成桐	2024年5月植林	上段9本
福岡県八女市星野村 6732	77本	早成桐	2023年8月植林	
	21本	早成桐	2024年5月植林	上段1本 中段14本 下段6本
福岡県八女市宅間田	101本	早成桐	2024年5月植林	
福岡県立花町白木 4020-11	71本	早成桐	2023年4月植林	上段58本 下段13本
合計	436本	早成桐		

4. 植林状態

福岡県八女市星野村

2024年2月16日



2024年5月10日



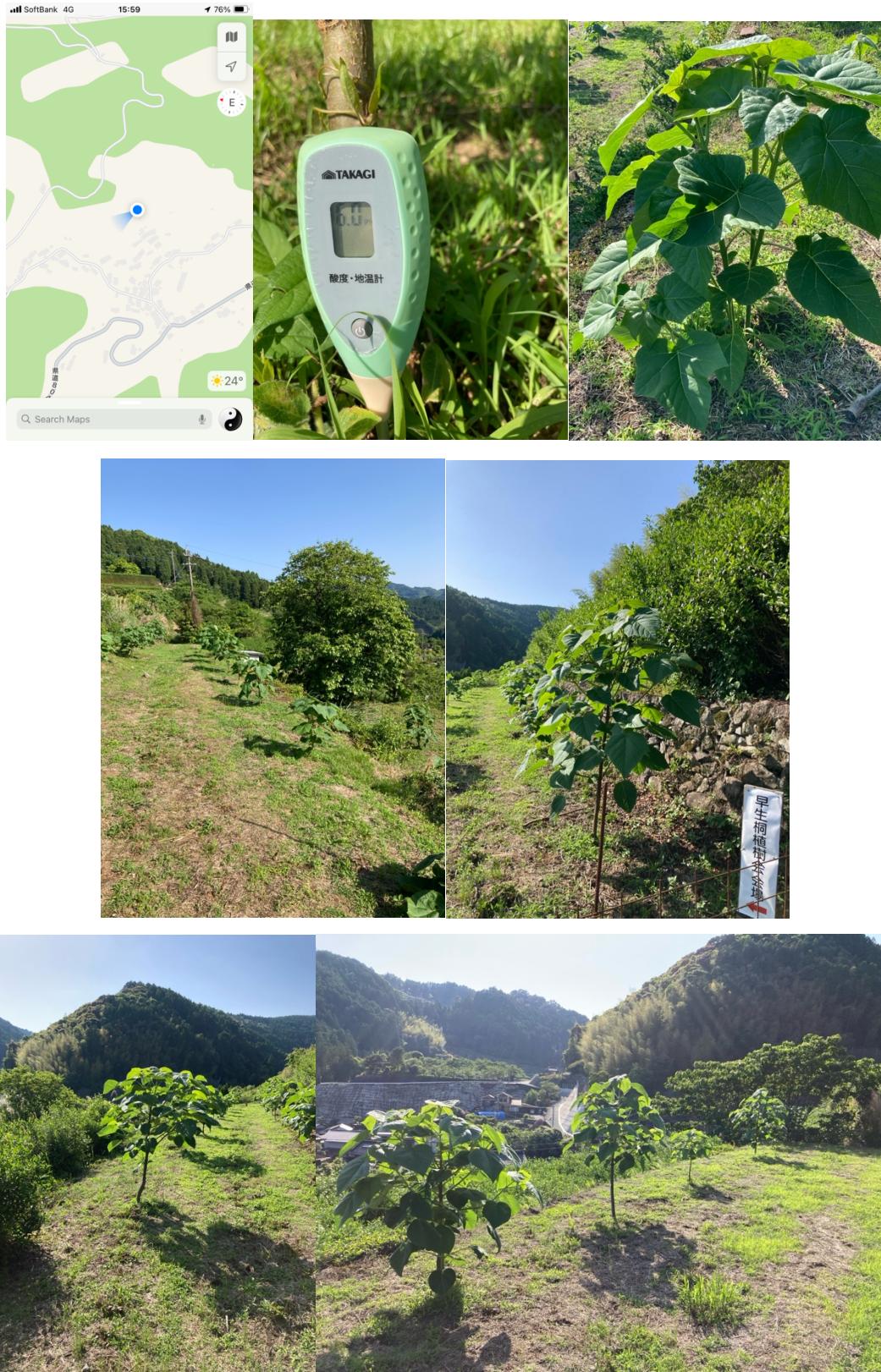


福岡県八女市星野村 6732

2024年2月16日



2024年5月10日





福岡県八女市宅間田
2024年2月16日



2024年5月10日





福岡県八女市立花町白木

2024年5月10日





5. 妥当性検証検討

場所	植林数	植林日	備考
福岡県八女市星野村	157本	2023年8月植林	妥当性が認められる
	9本	2024年5月植林	妥当性が認められる
福岡県八女市星野村 6732	77本	2023年8月植林	妥当性が認められる
	21本	2024年5月植林	妥当性が認められる
福岡県八女市宅間田	101本	2024年5月植林	妥当性が認められる
福岡県立花町白木 4020-11	71本	2023年4月植林	妥当性が認められる
妥当性確認合計数	436本		

6. 補足

福岡県八女市星野村

2023年8月に植林し約9ヶ月経過しているが、成長がやや遅い。日当たりがやや悪い状態であることが確認出来た。6月からの成長に期待。

2024年5月に9本の新規植林を確認した。

福岡県八女市星野村 6732

順調に成長していることを確認した。

2024年5月に21本の新規植林を確認した。

福岡県八女市宅間田

2024年2月の検証時は、現地での妥当性検証の結果、土壤の影響かどうかは不明であるが 成長が著しく遅れていることが判明した。その後、再植林を行い、2024年5月時点では、妥当性に問題が無いことを確認した。

福岡県立花町白木 4020-11

2023年4月植林した71本を確認した。

今回の4箇所の圃場では一番成長が早い圃場であった。

サイン

佐藤 智史

野口 英光